

小山町定例記者会見

11月

令和5年11月29日(水)
企画総務部 地域振興課



人の動き(令和5年11月1日現在)

人口 17,281 人 (前月比-16 人)
世帯数 7,492 世帯 (前月比-4 世帯)

★ 会見事項

- 1 第24回しずおか市町対抗駅伝大会小山町チームについて
- 2 地域防災訓練・モデル地区訓練の実施について
- 3 「第12回健康寿命をのばそう!アワード」
厚生労働大臣優秀賞受賞について
- 4 小山高校インターンシップについて
- 5 おやまアートビレッジ12月開催イベントについて
- 6 富士マラソンフェスタ2023の開催について
- 7 小山町・小山町商工会・小山町観光協会・三井住友海上火災保険株式会社
とのSDGs推進に関する包括連携協定について
- 8 遠距離通学サポート給付金の上限額引き上げについて

◇次回の定例記者会見は

12月22日(金) 15:30から 役場本庁3階 301会議室で行う予定です



第24回しずおか市町対抗駅伝小山町チームについて

(小山町教育委員会 生涯学習課/NPO 法人小山町体育協会)

1 概要

12月2日(土)に開催される「第24回静岡県市町対抗駅伝競走大会」への小山町の出場選手が決定しました。今大会も素晴らしい選手が集まり、町の部上位入賞を目指して練習を重ねています。

2 内容

(1) 日 時 12月2日(土) 10:00~

(2) コース 静岡県庁本館前~清水清見潟公園~草薙陸上競技場

(3) 監督 室伏 剛

コーチ 滝口 洋介

メンバー 21人

※当日出走者は12人

小学生 (男子)	北郷小5	あまの ともや 天野 智弥	高校生 (男子)	東海大翔洋高2	ちば まさと 千葉 仁人
	須走小5	やぎぬま さくと 柳沼 咲翔		東海大翔洋高3	せのお ゆうせい 妹尾 祐聖
	須走小6	とくまる りゅうき 徳丸 龍希		御殿場西高3	やまくち こうたろう 山口 紘太郎
小学生 (女子)	須走小5	すが みおん 菅 みおん	高校生 (女子)	小山高2	たかはし まなみ 高橋 愛
	須走小6	ひやくたけ ありさ 百武 有桜	一般(男子)	小山町役場	わたなべ だいち 渡辺 大地
中学生 (男子)	小山中2	いな ゆうと 稲 勇斗	一般(女子)	陸上自衛隊富士学校	すとう ひろあき 須藤 宏皓
	北郷中3	いわた たくや 岩田 拓也		大阪学院大1	ちば ひめか 千葉 妃華
	須走中3	たかだ だいち 高田 大地		東海大2	せのお はるか 妹尾 晴華
中学生 (女子)	小山中2	かじ みお 梶 碧桜	40歳以上	陸上自衛隊駒門駐屯地	こいけ たかお 小池 隆生
	須走中1	おおいし あやは 大石 彩葉		陸上自衛隊富士駐屯地	かみや みつあき 神谷 光章
	須走中3	あらい みゆう 荒井 美優			

【問い合わせ先】

生涯学習課 生涯学習班 電話 0550-76-5722

NPO 法人小山町体育協会 電話 0550-76-7511



小山町定例記者会見
令和5年11月29日

地域防災訓練・モデル地区訓練の実施について

(小山町 危機管理局)

1 概要

町は、北郷中学校を指定避難所とする7区を対象として、地域防災訓練・モデル地区訓練を行います。

2 内容

(1) 日時

12月3日(日) 10:00~12:15(予定)

(2) 場所

北郷中学校(小山町用沢355)

(3) 対象

- ・ 北郷中学校区7区
(用沢区、棚頭区、大御神区、中日向区、上野区、阿多野区、吉久保区)
- ・ 各自主防災会が事前に参加者を調整した方が、モデル地区訓練に参加

(4) 訓練の概要

ア 想定

午前9時、神奈川県西部を震源とする震度7の相模トラフ大地震が発生。
町内で家屋の倒壊等大きな被害が発生している模様

イ 細部訓練内容

- 午前9時の発災後、各区毎に集合場所へ集合
その後、北郷中学校へ移動
- 午前10時からモデル地区訓練を北郷中学校において開始(各種体験)
- 各種体験の内容(5コグループに区分してローテーションを行い体験)
 - 地震体験車を使用した地震体験
 - 自衛隊車両への体験搭乗
 - 自衛隊と地元婦人会が協力して作成する非常食体験喫食
 - 薬剤師会の協力による「災害と薬ミニ講座」
 - 御殿場保健所の協力による「動物同行避難ミニ講座」
 - 北郷中学校1年生による「防災スピーチ」

(5) 訓練協力団体等

陸上自衛隊板妻自衛隊、御殿場保健所、北郷婦人会、北駿薬剤師会

3 その他

駐車場は、北郷中学校グラウンドをご利用ください。(中学校正門からの入場はできません。)

【問い合わせ先】

危機管理局

電話 0550-76-5715



小山町定例記者会見

令和5年11月29日

資料 3

厚生労働省「第12回健康長寿をのぼそう！アワード」
(介護予防・高齢者生活支援分野) 厚生労働大臣優秀賞の受賞について

(小山町 福祉長寿課)

1 概要

「第12回健康寿命をのぼそう！アワード」の介護予防・高齢者生活支援分野において、株式会社スルガケアサービス AMBIK おやまが厚生労働大臣優秀賞を受賞し、11月27日(月)にイイノホール(東京都)で表彰式と静岡県庁で報告会が行われました。

この賞は、厚生労働省が国民の生活習慣を改善し、健康寿命を延ばすことを目的に健康管理、疾病予防、介護予防等の特に優れた自助努力活動等を行っている企業・団体・自治体を表彰し、生活習慣病の予防推進及び個人の主体的な介護予防・高齢者生活支援の取組につながる活動の奨励・普及を図ることを目的としています。

厚生労働大臣優秀賞は全国で「企業部門」「団体部門」「自治体部門」ごと各1件の選出となります。今回は「企業部門」での受賞となりました。小山町では、昨年度に「自治体部門」の厚生労働省老健局長優良賞を小山町地域包括支援センターが受賞したの続き2年連続の受賞となります。

2 内容

【介護予防・高齢者生活支援分野】

受賞名：厚生労働大臣優秀賞・企業部門

受賞団体：株式会社スルガケアサービス AMBIK おやま

取組名：自宅でも楽しくテレビで認知症予防

取組内容：認知症予防番組「簡単！楽しい！大人の脳トレ おやまっちょ」は令和2年度からスタートしました。コロナ禍における認知症予防番組として、普段デイサービスの中で行われている教材を使ったり、体を動かしながら行う脳トレをプログラムに取り入れ、ケーブルテレビにより放映し、フレイル予防や認知症予防を啓発しています。コロナ禍だからこそ自宅で毎日繰り返しできる、簡単で楽しい番組を心がけています。シンガーソングライターのフルヤトモヒロさんが毎回生徒役で出演し「間違えたらお得！」を合言葉に番組を盛り上げています。

その他：12月7日(木) 13:30から役場町長応接室にて町長への受賞報告を行います。

【問い合わせ先】
福祉長寿課 地域包括ケア推進班
電話 0550-76-6669



小山町定例記者会見
令和5年11月29日

資料 4

小山高校インターンシップについて

(小山町教育委員会 学校教育課)

1 概要

県立小山高等学校の1年生115人全員のインターンシップを小山町で受け入れ、町の将来を支える人材確保や町政への理解促進を図ります。

2 内容

本事業は、小山町内唯一の高校である県立小山高等学校（鈴木広隆 校長）の町における存在意義を高めるため、平成27年度に、小山高等学校の生徒8人をインターンシップとして小山町で受け入れました。平成28年度からは1年生全員を受け入れ実施しています。同校卒業生は、一般企業のみならず、官公庁、教員、保育士、看護師となり、地元へ貢献、活躍しています。

これまでも、小山高等学校の卒業生が、小山町の職員として採用されています。インターンシップの更なる充実は、将来の小山町を支える人材の確保につながるものであり、小山高等学校における教育の充実に寄与するだけでなく、地元高校生徒（とその保護者）に小山町で働く職員の生の姿、その職責等を認知してもらい、町政への理解を深められることも期待されます。

(実施内容)

1 受け入れ人数 小山高等学校1年生全員（115人）

2 受け入れ期間等

・期 間：12月5日（火）・6日（水）・7日（木）9：00～15：30

・受入日：11HR＝12／5（火） 12HR＝12／6（水） 13HR＝12／7（木）

※各学級1日ずつ体験します。

・受入れ部署・業務については別紙参照

【問い合わせ先】

学校教育課

電話 0550-76-6122

〈別添〉

令和5年度 小山高校インターンシップ 計画及び各所属業務内容

実施日・クラス ※クラスは仮です。 変更になる場合があります。	11HR 12月5日 (火)	12HR 12月6日 (水)	13HR 12月7日 (木)	受入合計数	備 考	業務内容
フロンティア推進課	3	2		5		小山町に進出する企業を知る 工業団地・進出企業の現地見学 次回開催予定合同就職フェアの告知SNS開設作業
おやまで暮らそう課	3	2	2	7	移住案内体験モニター	移住者獲得のため町が実施している個別に町内案内コースをモニターとして参加し、事業のブラッシュアップを図る。
企画政策課	6	4	9	19	・PC等の操作ができる ・スマホ持参 ・企画が好きな人	【目的】 ・小山高校生向けのコミュニティバス利用促進・新しいサービスの創出 【業務内容】 ・コミュニティバス乗車体験、改善提案 ・足柄駅の待合室の有効活用について ※アイザワ証券による金融教育(12/7のみ)
総務課	2	2		4		給与事務 12/5(2名)給与事務【時間外チェック、出役表チェック】 12/6(2名)給与事務【年末調整書類チェック・感謝状贈呈事務】
地域振興課			2	2	(無線放送をやっていたくので、元気な子)	同報無線放送、広報おやま取材 など
都市整備課		3		3	現場作業あり	①建築物耐震対策事業(TOUKAI-0) ②公園等管理業務 ③地域優良賃貸住宅の維持管理
農林課	3	2	3	8		①町内認定農業者や林業事業者などから直接インタビューを行い、高校生目線での農業・林業の現状把握 ②植林現場での作業 など
観光交流課	2	2		4		・所管施設の巡回、整備 ・所管倉庫の整理
商工振興課		2		2		・あしがら温泉業務支援 ・あしがら温泉について若者目線で利用促進の企画立案
住民課		5		5		【業務】 4人×2グループでマイナンバーカード広報コンテンツの制作 (採用されたコンテンツは、町が広報ツールとして活用する。) 【講義】 ・マイナンバーカード、国民健康保険業務等に関する講義
福祉長寿課	3	2	3	8		①見学 ・一般介護予防教室等 ②講座 ・各班の業務内容 ・町の高齢者の現状とフレイルについて ・認知症サポーター養成講座
税務課	4			4		①確定申告啓発用資料等作成 ②個人住民税 R04申告書ファイリング
くらし環境課		3		3	・動画作成に興味がある方 ・アイデア出しが好きな方 (女子を希望します)	・脱炭素推進動画作成
御殿場消防署	5	4	5	14		(御殿場消防署) ①交代要領見学、消防車両、車両説明 ②施設見学 ③ロープ検索訓練 ④救急法(応急処置)訓練 ⑤放水訓練 ⑥署長講話
危機管理局	4			4	男女各2人(作業があるため、終日運動できる服装)	①防災倉庫の整理 ②防災システム研修 ③町内避難所の確認
生涯学習課	2	3	6	11	受入先に難儀するようなら当課が引き受けます。	①文化会館、図書館業務支援、総合体育館トレーニング室体験 ②パークゴルフ体験 ③豊門公園管理・文化財見学
健康増進課			4	4		①小学生向けのがん教育に活用するがん予備知識を啓発するチラシの作成 ②がん検診の受診率向上を啓発する掲示物(模造紙等)の作成 ③がん検診の案内通知に使う封筒の受診啓発を促すデザインの作成
こども未来課	2	2	2	6		子育て支援センター きんたろうひろばでの活動
学校教育課			3	3		・事務支援、環境整備 ・給食支援
合計	39	38	39	116		
小山高校参加数	39	38	38	115	13HRで当日欠席者があるため 計115人	



小山町定例記者会見
令和5年11月29日

資料 5

令和5年度 おやまアートビレッジ 12月のイベントについて

(おやまアートビレッジ実行委員会
事務局 小山町 生涯学習課)

1 概要

町民の皆様へ一流の芸術家たちの芸術に触れる機会を提供する「おやまアートビレッジ」。12月は、ハンドベルコンサートや、豊門公園でのイルミネーションを開催します。

2 内容

「ハンドベルコンサート in 豊門カフェ」

日 時：12月24日（日） 17：00開演

場 所：豊門公園 西洋館

チケット代：入場無料

出 演：スウィートハーモニー

「豊門公園イルミネーション」

日 時：12月15日（金）～25日（月）

17：00～20：00

場 所：豊門公園

【問い合わせ先】

生涯学習課 生涯学習班

電話 0550-76-5722



小山町定例記者会見
令和5年11月29日

資料 6

富士マラソンフェスタ2023の開催について

(小山町教育委員会 生涯学習課/NPO 法人小山町体育協会)

1 概要

富士マラソンフェスタは、国際サーキットのレーシングコースを走るという数少ないレースです。富士スピードウェイの施設を活用した快適なマラソン大会として首都圏からのリピーターが多く、施設利用の利便性と豚汁等のおもてなしがランナー及び来場者から好評を得ています。

平成29年の大会から「日本ハーフマラソンランキング」(主催：一般財団法人アールビーズスポーツ財団)の対象大会となりました。今年は、ハーフマラソン・レーシングコース1周・2周・小中学生3km・親子ペア3kmの計5種目を実施することとし、1,608人の方にエントリーをいただきました。

2 内容

- (1) 日 時 令和5年12月17日(日) 9:00~
(2) 会 場 富士スピードウェイ レーシングコース
(3) 競技部門

部 門	スタート時間
小・中学生・親子ペア3km	9:30
サーキット1周4.4km	9:45
サーキット2周8.8km	9:45
ハーフマラソン	10:45

- (4) そ の 他 手作り豚汁、地元のお土産の販売、飲食ブースをはじめ、小物販売など参加者だけでなく同伴者も楽しめるイベントを開催し、「おもてなし」を予定しています。

【問い合わせ先】

生涯学習課 生涯学習班 電話 0550-76-5722
NPO 法人小山町体育協会 電話 0550-76-7511



小山町定例記者会見
令和5年11月29日

資料 7

小山町・小山町商工会・小山町観光協会・三井住友海上火災保険株式会社との SDGs 推進に関する包括連携協定について

(小山町 企画政策課)

1 概要

町は、小山町商工会・小山町観光協会・三井住友海上火災保険株式会社と、緊密に連携することにより、地域社会の持続的な成長及び自律的好循環の実現に資することを目的に、地域企業への SDGs の普及啓発や取組支援などに関する包括連携協定を締結することになりました。

つきましては、協定締結式を次のとおり開催いたします。

2 内容

日時 令和5年12月13日(水) 10:30～

場所 豊門会館

出席者(予定)

○小山町	町長	込山 正秀	
○小山町商工会	会長	小野 寛幸	様
○小山町観光協会	会長	鈴木 萬利子	様
○三井住友海上	静岡支店長	谷口 健一	様 他数名

3 協定内容

相互の連携を強化し、SDGsの推進に向けて以下の事項に取り組みます。

- (1)町民及び事業者の共通理解に向けた啓発に関すること
- (2)地方創生に向けた各種取組に関すること
- (3)地域振興を担う人づくりに関すること
- (4)その他連携及び相互協力が必要と認められる取組に関すること

4 想定される連携業務

- (1)地域企業への SDGs の普及啓発や取組への支援
- (2)地方創生 SDGs 登録・認証制度等の構築支援

【問い合わせ先】

企画政策課 企画班

電話 0550-76-6133



遠距離通学サポート給付金の上限額引上げについて

(小山町 おやまで暮らそう課)

1 概要

町では、若者の町外転出の抑制を目的に、町内に居住しながら大学等に遠距離通学する学生に対し通学定期券購入費の助成を行う「小山町遠距離通学サポート給付金」について、上限額を月1万円に引き上げ、新たに、鉄道利用と併用する通学のための月極駐車場使用料を月2,500円まで給付します。

2 内容

(1) 対象者

- ・概ね50kmの遠方の駅まで通学定期券を使用して大学等に通学する町民
(「鉄道利用片道50km以上」から「町内から概ね50km以上の駅」に定義緩和)
【対象駅】 ※別紙参照
 - 東京、横浜方面 JR 茅ヶ崎駅以東、
小田急小田原線 海老名駅以東
 - 静岡方面 JR 吉原駅以西
 - 伊豆方面 JR 湯河原駅以南、伊豆箱根鉄道駿豆線 伊豆仁田駅以南
- ⇒自家用車と鉄道を併用した通学の場合、これまでは鉄道利用距離が50kmに満たない通学は対象外だったが、対象駅までの通学であれば対象となります。

(2) 給付金の額

- 上限額引上げ** 遠距離通学定期券の購入費の2分の1を、定期券の有効期間1月当たり1万円まで給付(これまでは3千円)
- 制度拡充** 通学のために月極駐車場を賃貸し通学定期券と併用している場合、駐車場使用料の2分の1を、1月当たり2,500円まで給付

(3) 申請方法、経過措置

- ・現在と同様にオンライン申請を可能とします。
(今年9月のオンライン手続き化以降、オンライン申請率は100%)
- ・既に後期分を申請済の学生には、改正後の上限額との差額を申請可能とし、個別に案内します。

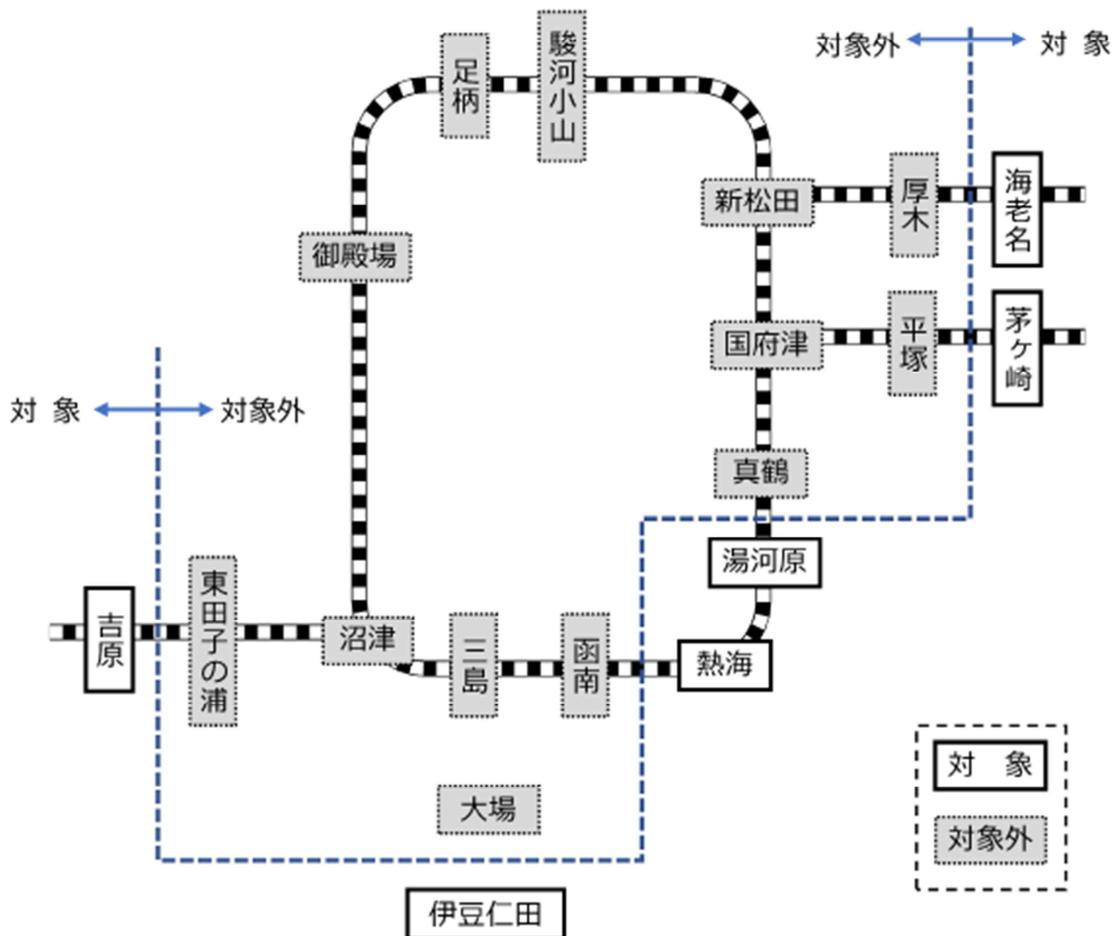
本事業を通じて、本町に住み続けながら自身の将来を考えたり、町内から就職活動をしたりする学生を応援することで、地域の次世代を担う若者の地元定着を図ります。

【問い合わせ先】 おやまで暮らそう課電話 0550-76-6159

小山町遠距離通学サポート給付金

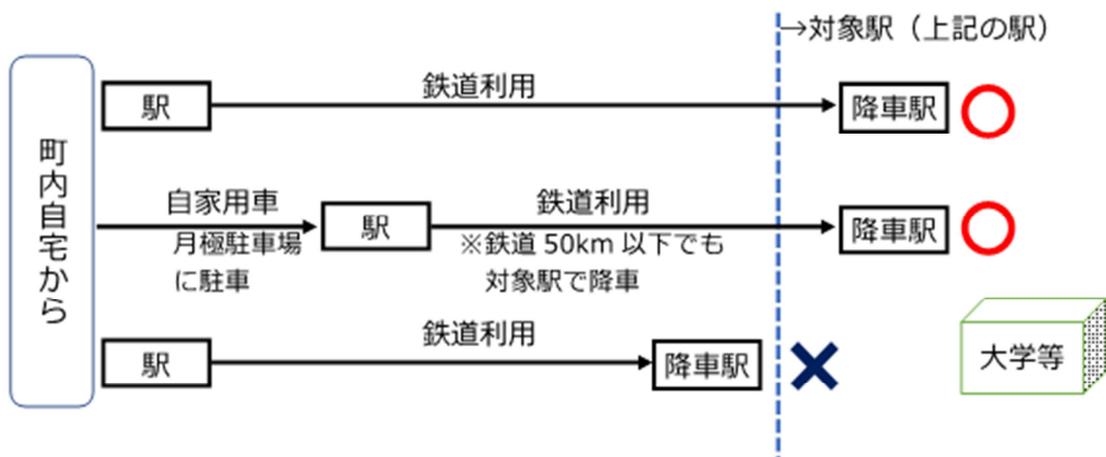
給付対象となる通学（令和5年11月要綱改正）

○対象駅（本町から概ね50km以上の駅）



○対象となる通学手段

概ね50km以上



○給付金の額

※定期券購入費の1/2（上限1万円/月） + 駐車場使用料1/2（上限2,500円/月）